

平成29年度茨城県教育研究会アンケート結果

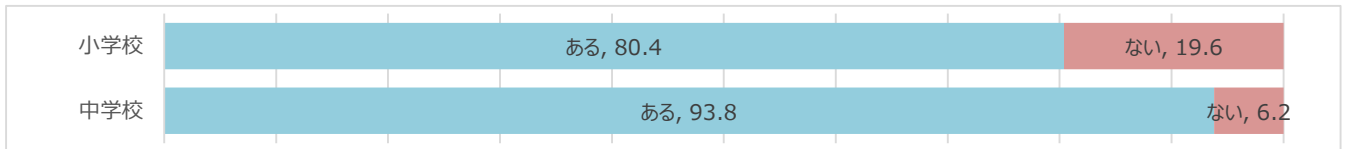
平成29年6月23日現在
茨城県教育研究会 組織活性化委員会

小学校 388校 中学校 178校 計 566校

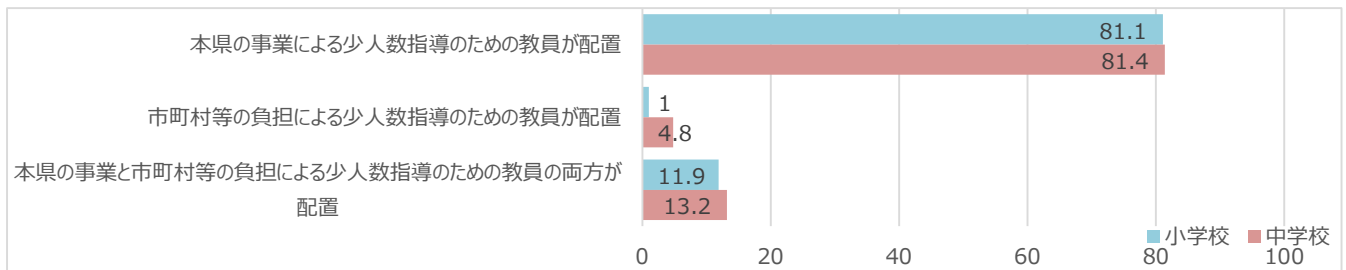
1 学力向上のための授業改善について

I 少人数指導の充実について

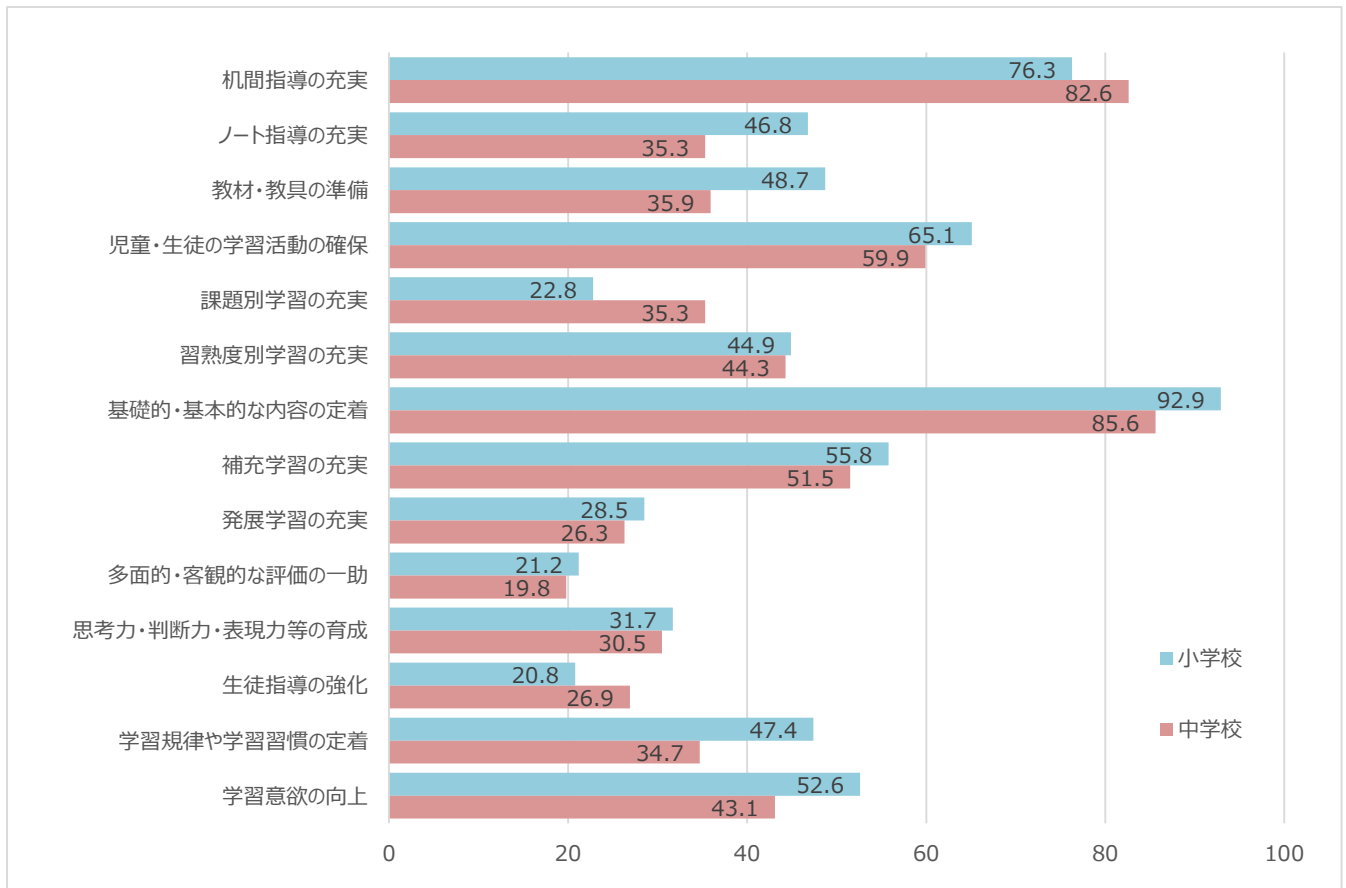
- 1 現任校は、少人数指導のための教員が配置されていますか。少人数指導とは、特定の教科におけるＴＴによる指導や、学級を分割して編成した学習集団（学習グループ等）での指導を指します。



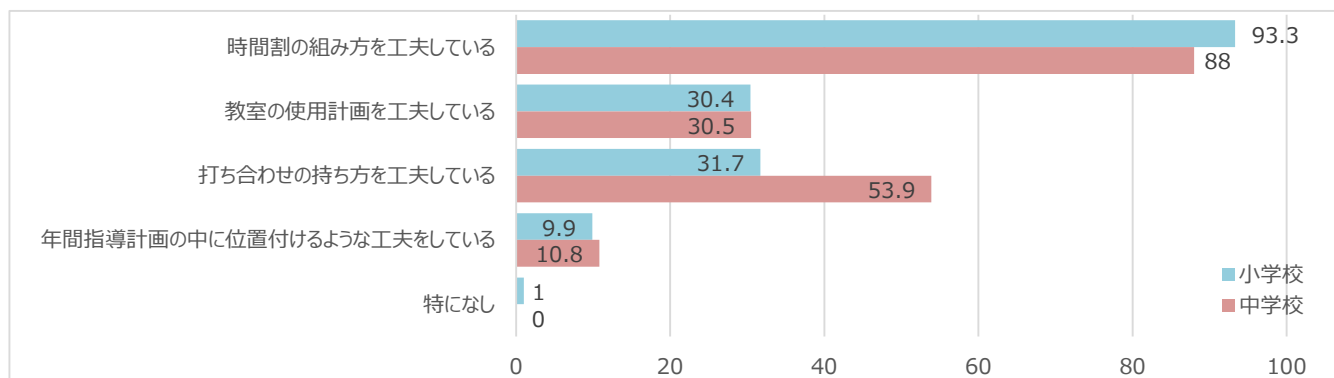
- 2 少人数指導のための教員等の配置は下記のいずれにあてはまりますか。一つ選択してください。



- 3 現任校での、少人数指導による成果をどのように捉えますか。（複数回答可）



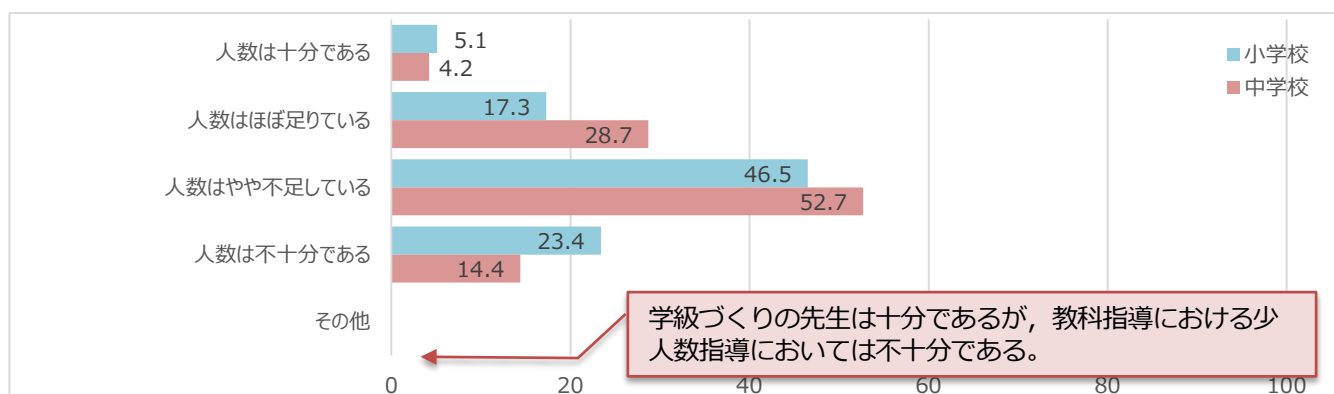
4 現任校において、少人数指導を効果的に進めるために工夫していることをお答えください。（複数回答可）



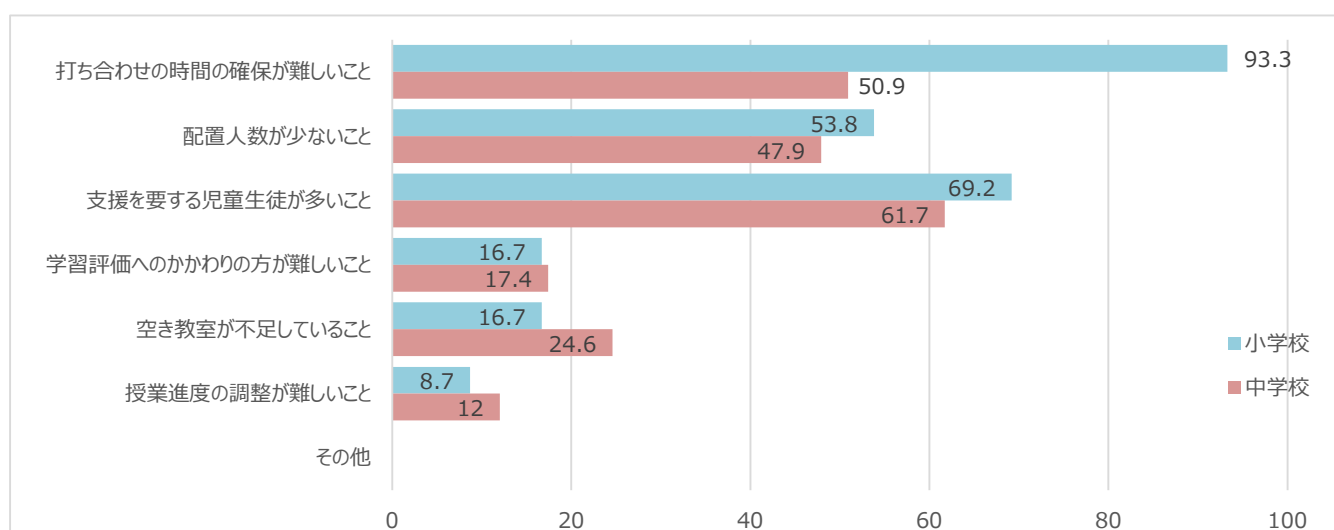
上記の具体例やその他の工夫例をお答えください。

- ・授業中における役割分担を明確にしている。
- ・少人数指導授業の相互参観を行っている。
- ・低学年中心
- ・学級の実態に応じた単元学習の実施

5 現任校において、少人数指導について、配置人数の現状についてどう思いますか。

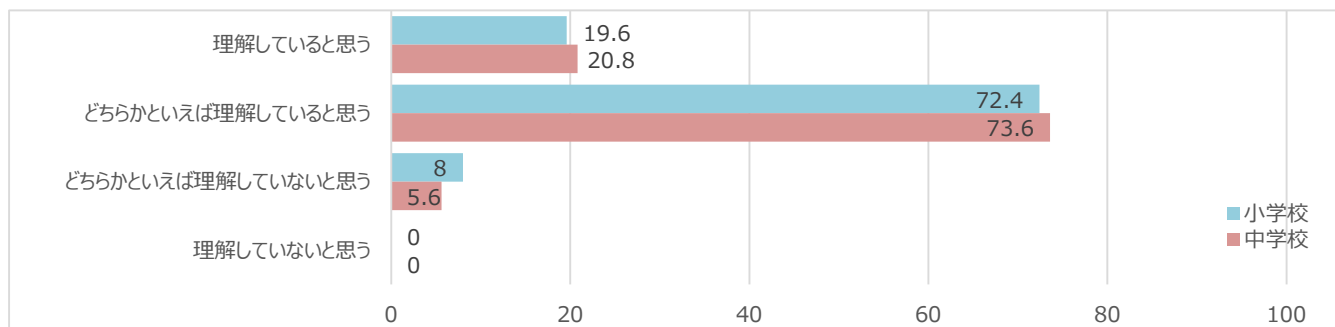


6 現任校において、少人数指導の課題は何ですか。（複数回答可）

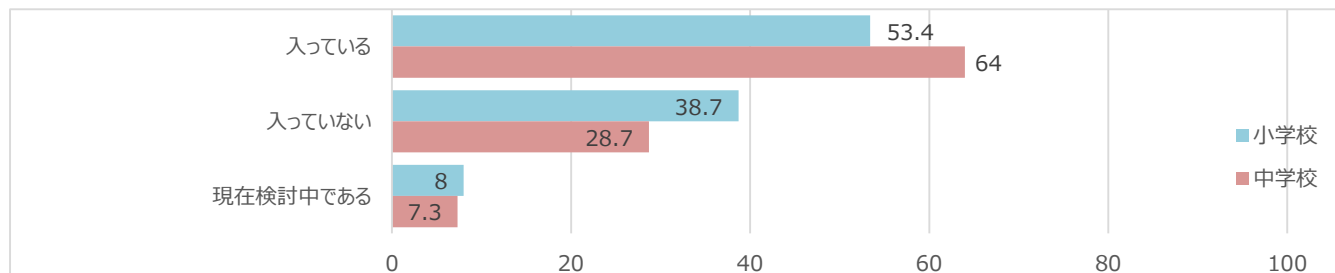


Ⅱ アクティブ・ラーニング（課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学び）について

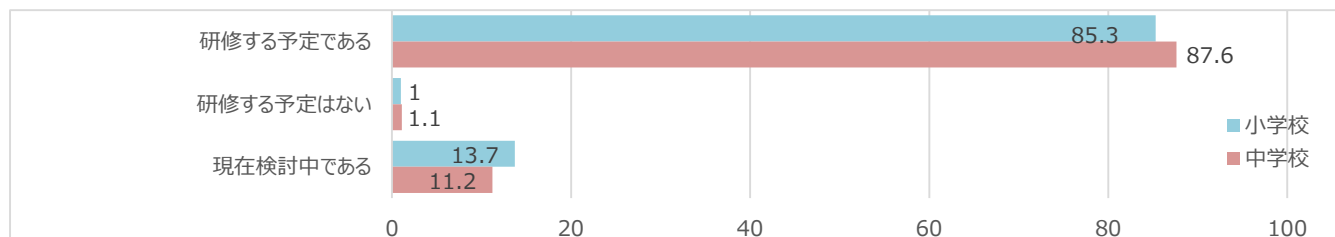
1 あなたの学校の教職員は、「主体的・対話的で深い学び」について、どの程度理解していると思いますか。



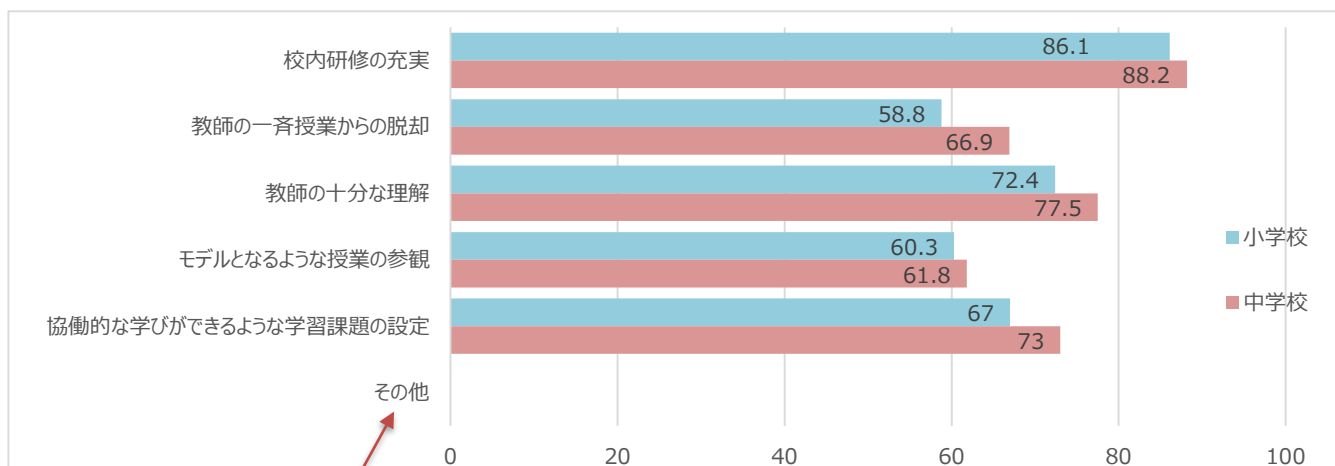
2 あなたの学校では、今年度の校内研修テーマの中に、「主体的・対話的で深い学び」という内容（文言）が入っていますか。



3 あなたの学校では、今年度の校内研修において、「主体的・対話的で深い学び」についての研修を予定していますか。



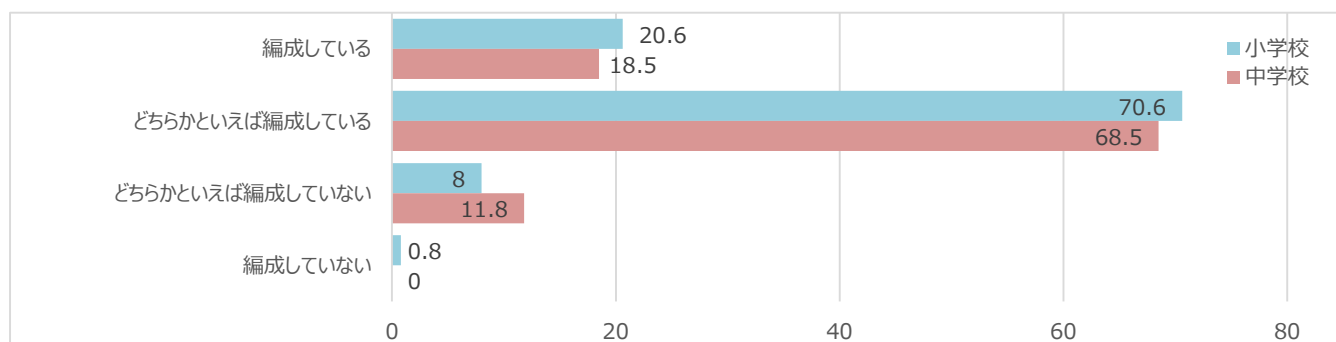
4 「主体的・対話的で深い学び」を推進していくために、何が大切だと思いますか。（複数回答可）



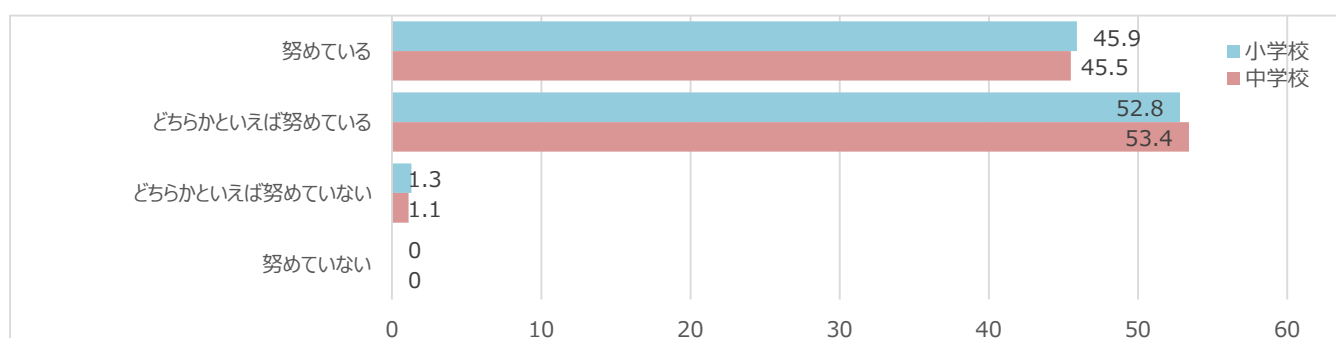
- ・ 児童の基礎的・基本的な内容の定着
- ・ 深い学びにしていける手立て
- ・ 学級経営の充実
- ・ 児童の話す・聞くスキル
- ・ 余剰
- ・ 深い学びに導く教師の「問い返しの言葉」の工夫
- ・ 問いや学習ツールの工夫
- ・ 業務の軽量化
- ・ 少人数指導
- ・ 教材研究や授業の準備時間の確保
- ・ 互いに学びあえる学級風土の醸成
- ・ 研修に時間を割くことが出来る時間の確保
- ・ 学校の実態にあった独自性
- ・ ICTサポート等のスタッフ支援

Ⅲ カリキュラム・マネジメントについて

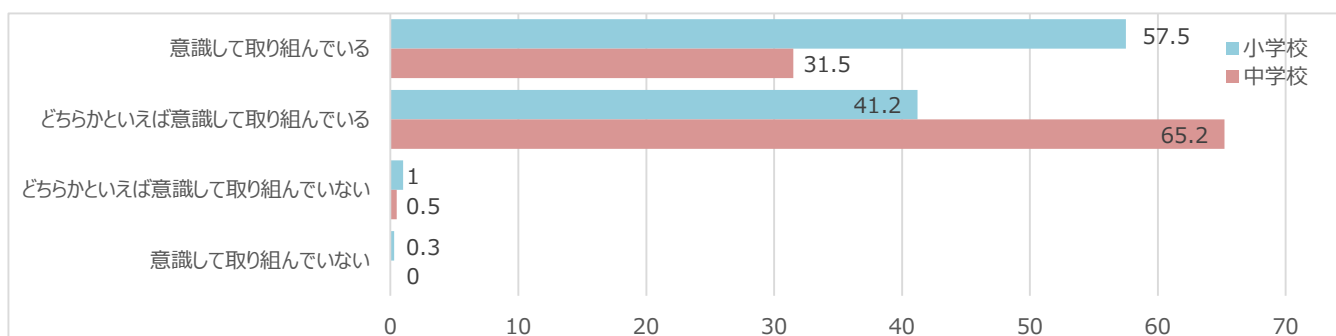
- 1 あなたの学校では、「社会に開かれた教育課程」を念頭に置きながら、カリキュラム・マネジメントを意識して、教科等横断的な視点で教育課程を編成していますか。



- 2 あなたの学校では、教育内容の質の向上に向けて、子供たちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価し、改善を図る、一連のPDCAサイクルの確立に努めていますか。



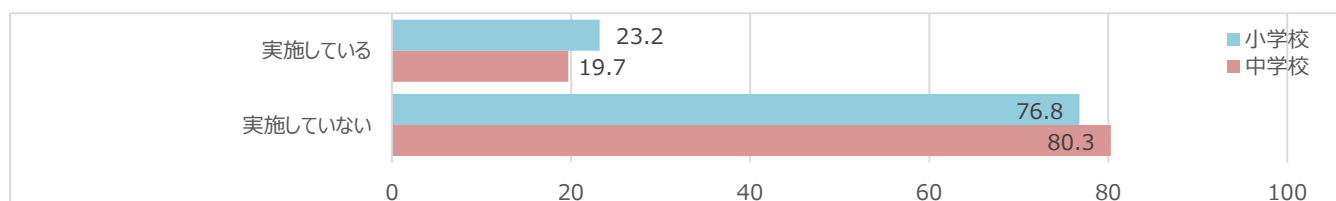
- 3 あなたの学校では、教育内容と教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせようと意識して取り組んでいますか。



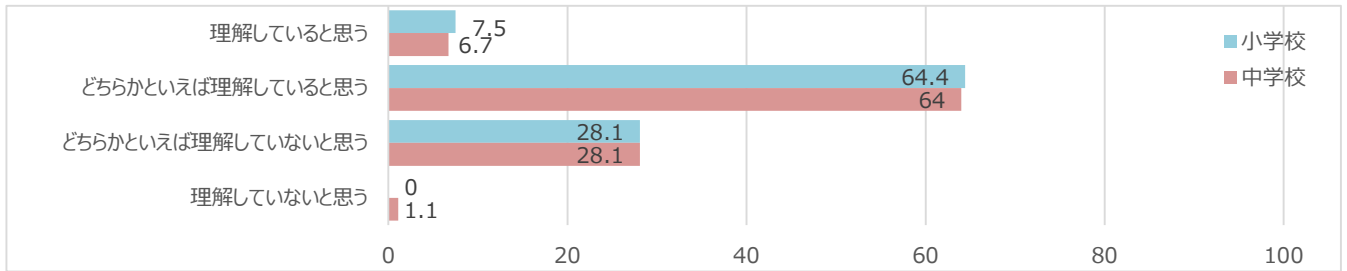
2 一部改正学習指導要領及び次期学習指導要領について

I 「特別な教科 道徳」について

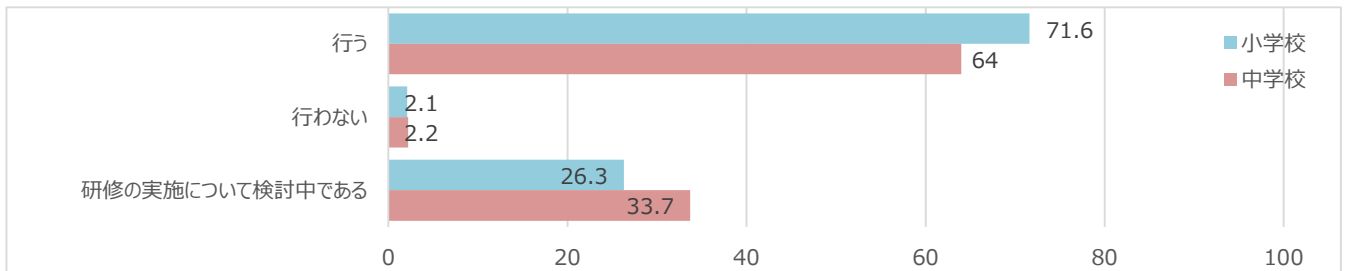
- 1 あなたの学校では、現在、特別な教科として道徳を実施していますか。



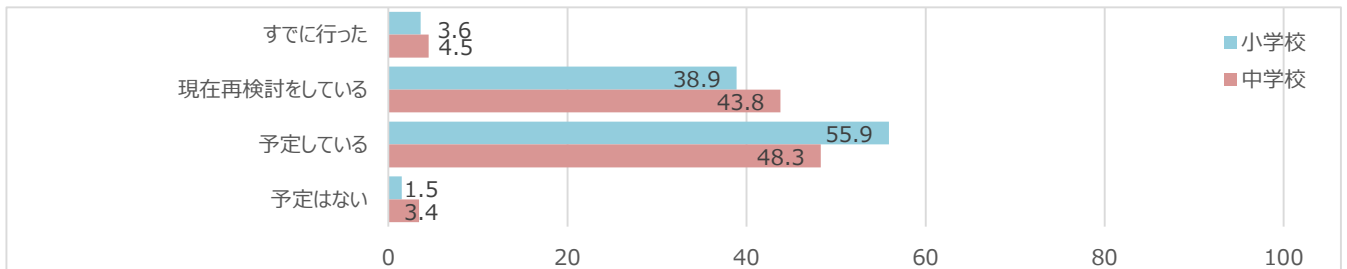
2 あなたの学校の教職員は、「考え、議論する道徳」について、どの程度理解していると思いますか。



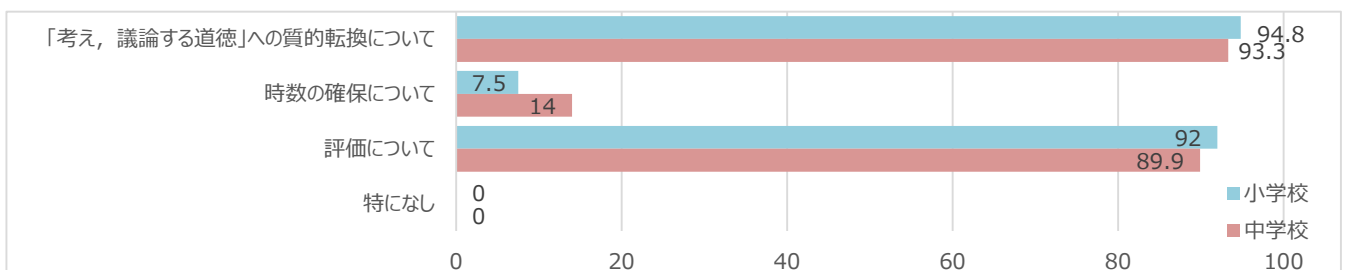
3 あなたの学校では、今年度の校内研修の中で、「特別の教科 道徳」の実施に向けて（あるいは実施していることについて）研修を行いますか。



4 あなたの学校では、「特別の教科 道徳」の目標や指導内容、内容の取扱いを取り入れた年間指導計画の再検討を予定していますか。



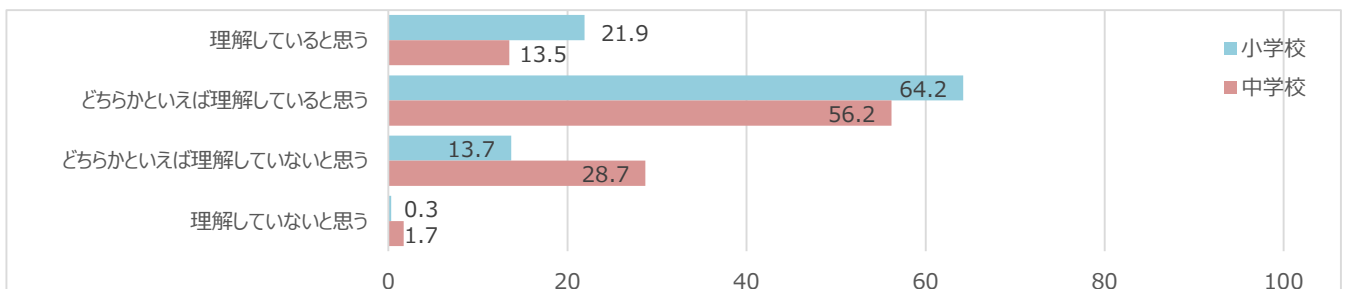
5 「特別の教科 道徳」を実施していくために、課題だと思うことは何ですか。（複数回答可）



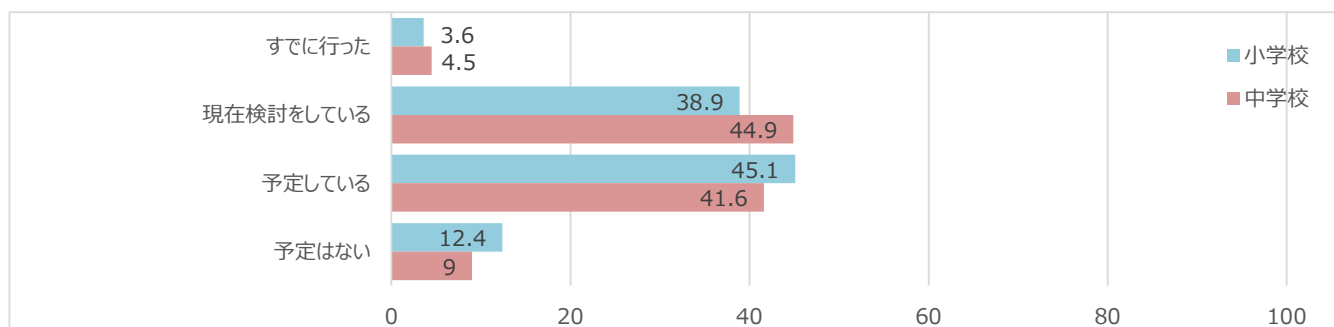
・道徳ノートの効果的な活用法 ・共通理解 ・授業の展開のしかた

II 「外国語活動」や小学校の「外国語科」について

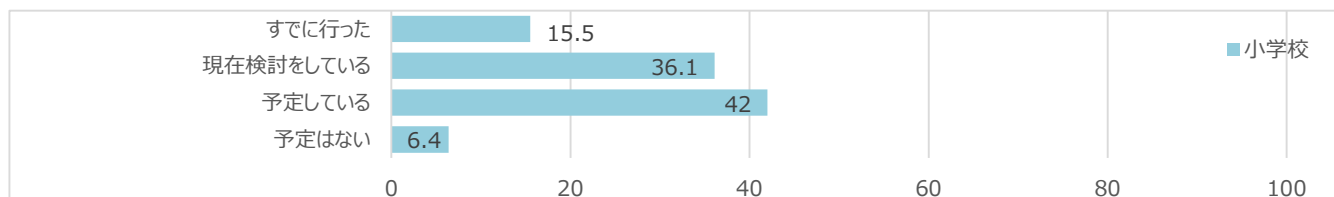
1 あなたの学校の教職員は、小学校で実施される3，4年生の「外国語活動」と5，6年生の「教科 外国語」について、すでに公表されている内容を理解していると思いますか。



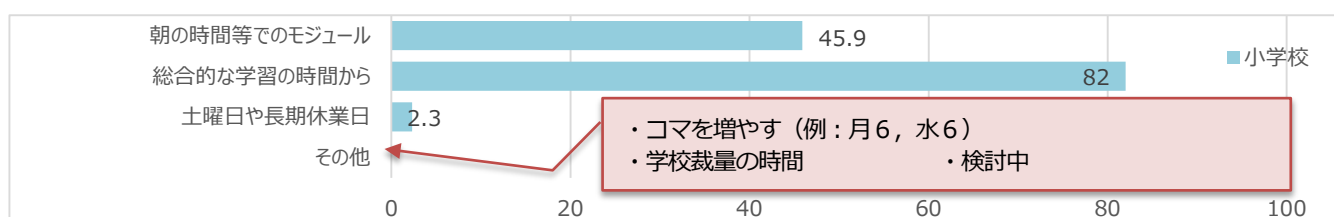
2 あなたの学校では、小学校における「外国語活動」や小学校の「外国語科」と、中学校における外国語科との接続に留意した指導計画の作成について、小学校と中学校の連携において検討することを予定していますか。



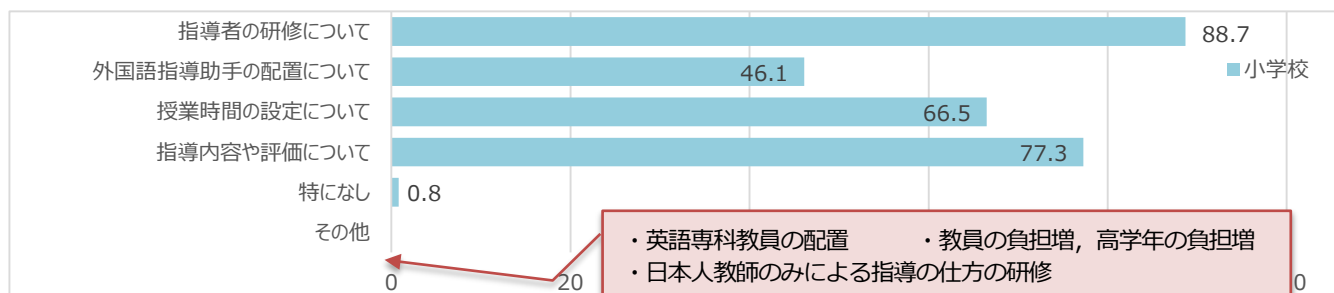
3 あなたの学校では、「外国語活動」と「外国語科」を実施するために、授業時間をどのように設定するか、編成及び実施について、今年度検討を予定していますか。



4 全問3で、1、2、3のいずれかを答えた場合、授業時間をどのように設定しようと考えていますか。（複数回答可）



5 「外国語活動」と「教科 外国語」を実施していくために、あなたが課題だと思うことは何ですか。（複数回答可）



3 茨城県教育研究会の事業等について

1 上記の変更は、「業務の効率化（業務の適正化）」に結びついていると思いますか。

